



あざみ
AZAMI
の教え

上級より
上青
ゴルフマナー
修得講座

AZAMI(蘭)
スコットランドの国花。短い花のなかのポルを打とうとしたゴルフアイに、この先住者は刺の花で、平和な暮らしを奪う権利はないのだとセント・アンドリュースの聖人フランシス卿が論じて、アングロ・フランス語を混ぜたという逸話が残っている。

鈴木 康之
挿画●唐仁原教久

石坂GCのロゴマークやパンフレット制作の仕事と出会ったのは開場の前年平成四年でした。経営者の求めるイメージが的確だったため、提案はすんなり通り、気持ちよく仕事ができました。わずかに四五回の会議と開場時にお会いしただけでしたが、気っ風のいい人柄とともにその名前は記憶に残りました。

マークは美術用語で言うアルプ形にしました。グリーン
の形のようにも、池の形のようにも見えますが、モチーフは石でした。昔この地は岩盤の丘陵地で大小の円い石のある坂道が多かったからという地名の由来に因みました。

石は地球の分身である。水の流れに研ぎ出され、風の流れに洗われ、時の流れに磨かれてきた。マークは大小幾通りもの内心円と外心円の円周をつないでテッサンしました。石坂GCが、会員たちの外の和、内の和でつながり、いいソサエティになることを願ってデザインしたわけです。

石だけが持つ硬さがある。石だけにしかなない重み。石だけがみえる円み。

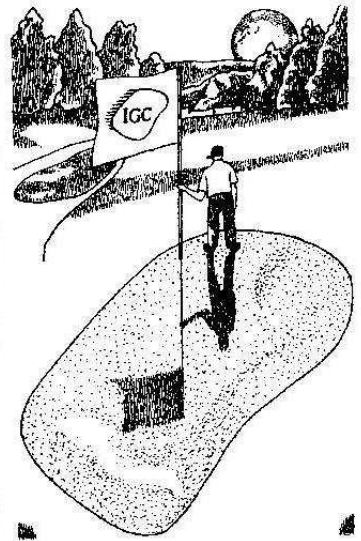
石にしが表れない手触り。そして恥ずかしながら、散文体の拙い四行詩をパンフレットに添えました。

地球が父であり母である。硬いのに外見は円い石。重いのに転がる円い石。地球にまる写しの円い石。今年の春、友人の紹介で西村邦夫さんとお会いすることになりました。なんと石坂GCのシニアチャンピオンで、その日石坂でプレー、その足で約束の店に来られると言い

ます。メールの交換で私は思わず尋ねました。「岡田繁さんはもういらつしやいませんか」すると「いまま社長てお元気です」

その夜、西村さんの手から岡田さんの封書をいただきました。いまの私をよく知っておいてでした。そればかりか、招かれて、後日伺うと……。クラブハウスを出たところの芝生に大きな石のプレートがあり、そこに、なんと「円い石の倶楽部」と題した四行詩が刻まれているではありませんか。

倶楽部づくりの話聞いてさらに欣懐。安全なプレー、笑顔の挨拶、心配りと思いや



りを重視した会員間モラルを謳い上げています。

キャデイチたちが推挙するリストからエチケツトフェローシップ委員会とシニアレディース委員会に選ばれ、「グッドマナープレーヤー」の榮譽のネームタグをつけた会員はすてに十人。

強豪揃いの埼玉で倶楽部対抗戦に挑む上級者男女チーム

トーナメントの会があるのもここならては。

様々な円い石が集うている。父である地球の腹の上。母である地球の膝の上。多石済々、愉快倶楽部。十八年前に岡田さんがイメージし、私に書かせたとおりの世界がいま形成しつつあるのを目の当たりにして、感無量です。

の研鑽をはじめ、和気あいあいのコンペの工夫もいろいろ。ハンデイキャップの高低に関わらず参加して楽しめるマッチプレー

ゴルフにはスコアよりもっと大切なことがある。
鈴木康之著 最新刊「脱俗のゴルフ」(小笠原) 続・ゴルフのスピリット
新刊判・並製 定価900円(税別)



円い石たちの倶楽部

